

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社では、この度地域福祉に携わる事業者の方向けに、ささやかですがその時々のお届けしたいと思い、OM通信地域福祉版をお送りいたします。今回は新型コロナウイルスについて情報をお伝えいたします。

コロナ「2類」→「5類」 変更内容まとめ

【行動制限など】「5類」に移行され、これまで行われてきた行動制限ができなくなります。できなくなる行動制限は、緊急事態宣言、入院勧告・指示、感染者や濃厚接触者の外出自粛要請などです。

【医療機関の対応】入院の受け入れや診療ができるのはこれまで感染症指定医療機関や発熱外来など一部の医療機関だけでした。「5類」移行後は幅広い医療機関で対応できるよう、段階的に移行する方針です。

【公費負担】入院や検査にかかる医療費は、現在は全額公費負担で、患者の負担はありません。「5類」移行後は原則、一部が自己負担になります。ただ、受診控えが起きることなども懸念されることから、当面は公費での負担を継続した上で段階的に見直していく方針です。

【マスクの着用】マスクについては、屋内、屋外を問わず、着用を個人の判断に委ねることを基本にしています。ただし、満員電車や高齢者施設などではマスクを推奨しています。

【ワクチン接種】ワクチン接種は予防接種法に基づいて無料での接種が進められてきました。接種費用の負担を引き続き自己負担なく受けられるようにしています。

一般的には上記のような対応となりますが、福祉施設・介護事業所においては引き続き「感染対策の継続」とあわせて「地方公共団体における支援の一部継続」が厚生労働省から周知されています。まだまだ油断ができない状況が続きますが、高齢者施設の中には「感染対策をしっかりとりつつ、面会を一部再開した」という事業所もいらっしゃるようです。可能な範囲での、「人とのつながり・交流」の実施も推奨されており、難しい判断が続きそうですね。

保険商品によるコロナの扱いについて

以下内容の保険商品は 2023/5/8 よりコロナによる保険金支払い対象外となる可能性があります。

- ・特定の感染症を補償する商品
- ・休業損失・施設の消毒費用等の損害を補償する商品
- ・施設の消毒費用等の損害を補償する商品など

ただし一部制度商品に関しては特例を設ける可能性がありますので見解がまとまり次第お伝えしていきたいと思います。



オンワード・マエノでは、この度ツイッターをはじめました。スタッフのあんな事、こんな事、お客様へのお役立ち情報など…いろいろな情報をツイートしていきます。お時間があるときにぜひのぞいてみてください。フォロー宜しくお願いします！